

第5回委員会における各委員からのご意見と対応状況について

No.	議 題	委 員	意見要旨（実際の発言内容を整理して記述）	対応状況
1	第4回委員会後の取組状況等について （散水試験の追加検討について）	藤原委員長	・現行施設において、ボーリングで各廃棄物層を採取し、溶出試験を行った結果について、pH以外の基準項目はどのような結果だったのか。pHはアルカリ性だが、その他の基準項目の溶出はなかったのか。	委員会当日にご説明し、ご了解をいただきました。 （第5回委員会議事録のとおり(P.7)）
2		藤原委員長 笹原委員	・新処分場についても、廃止時の調査手法等を、検討しておく必要がある。 ・廃止時の調査手法等について、管理・運営マニュアルにも記載していくこと。	委員会当日にご説明しましたとおり、現在、策定を進めています管理・運営マニュアル中に記載します。（第5回委員会議事録のとおり(P.7、8)） また、内容については、次回以降の委員会において、ご説明いたします。
3	第4回委員会後の取組状況等について （乾燥塩の再利用の検討について）	花嶋委員	・再利用の方法を検討いただいたことは大変感謝する。一方で、エゴ次亜塩素酸ナトリウムとしての利用検討において、たった20万円弱/年の差で費用対効果が低いという棄却理由は少し弱いと思う。	委員会当日にご説明し、ご了解をいただきました。 （第5回委員会議事録のとおり(P.12)）
4		藤原委員長	・エゴ次亜塩素酸ナトリウムを実現している愛媛県松山市の事例を踏まえると、工期以外での課題は何かあるのか。	委員会当日にご説明し、ご了解をいただきました。 （第5回委員会議事録のとおり(P.12)）
5		藤原委員長 笹原委員	・再利用は難しいという結論は理解できる。一方で、廃棄物管理の未来の方向性という意味で、各関係部署間を超えた先進的な取り組みを今後も検討されるとよい。	委員会当日にご説明し、ご了解をいただきました。 （第5回委員会議事録のとおり(P.13)）
6	工事の進捗及び施設の構造等の見直し について（南側斜面の安全対策について）	藤村委員	・埋立地内斜面の勾配について、分水嶺に影響させないため、1:1.45で掘削するというが、斜面は大丈夫か。	委員会当日にご説明し、ご了解をいただきました。 （第5回委員会議事録のとおり(P.16、17)）
7		笹原委員	・埋立地内斜面は、吹付けを実施しながら、崩れを抑えながら掘削していく特殊な施工方法を行うため、1:1.45で掘削することも可能である。	委員会当日にご説明し、ご了解をいただきました。 （第5回委員会議事録のとおり(P.17)）
8		藤原委員長	・5m地盤を上昇させることで、処分場の埋立容量に変更は生じないか。	委員会当日にご説明し、ご了解をいただきました。 （第5回委員会議事録のとおり(P.17)）
9		笹原委員	・現場確認をし、泥岩の風化状況、線状凹地の状況、隣接する工事用道路の掘削状況を踏まえると、深い地すべりではなく、表層部の風化した泥岩が動いている状況と推察されたため、事務局と協議し、本工法を選択することを結論付けた。	委員会当日にご説明し、ご了解をいただきました。 （第5回委員会議事録のとおり(P.18)）
10		藤原委員長	・斜面観測を行い、万が一大きな動きが見られた場合には、責任をもって対応にあたるという表現は定性的であるため、可能な範囲で具体性を持った表現にしてほしい。	委員会当日にご説明し、ご了解をいただきました。 （第5回委員会議事録のとおり(P.19)）

第5回委員会における各委員からのご意見と対応状況について

No.	議 題	委 員	意見要旨（実際の発言内容を整理して記述）	対応状況
11	工事の進捗及び施設の構造等の見直しについて（施工範囲の拡大に伴い雨水の調整方法の見直しについて（防災調整池））	花嶋委員	・西側流域について、現在は財団所有地となったことから、西側流域への降雨量の60%を西側に放流するというのは、どういった放流の仕方なのか。	委員会当日にご説明し、ご了解をいただきました。 （第5回委員会議事録のとおり（P. 20、21））
12		笹原委員	・西側の溪流に放流することとなると、下流にある長竹川のピーク流量が大きくなるのではないかと。	委員会当日にご説明し、ご了解をいただきました。 （第5回委員会議事録のとおり（P. 21））
13	工事の進捗及び施設の構造等の見直しについて（保護マットの追加について）	藤村委員	・今回提案のあった見直しの構造について、他県の類似施設を参照しているが、参照にした施設以外の全国的な市場調査、比較調査結果などのデータはあるか。	本委員会 資料P3～4でご説明いたします。
14		藤村委員	・現状の計画でも法定基準を上回る仕様になっているにもかかわらず、さらに保護マットを追加することについて、追加に係る費用は県及び各市町村の負担になるため、より合理的理由が立つ説明及び資料を作成してほしい。	本委員会 資料P3～4でご説明いたします。
15	工事の進捗及び施設の構造等の見直しについて（浸出水処理施設の基本設計について）	笹原委員	・活性炭吸着を設置しない場合、部品や消耗品の消耗度が増し、維持管理費用が増加するという点について、実績や負荷に係る具体的な数字などのデータはあるか。	委員会当日にご説明し、ご了解をいただきました。 （第5回委員会議事録のとおり（P. 29））
16		島岡委員	・現行施設の脱塩処理はRO膜による処理フローであるが、この現行施設の経験を生かして、新処分場の浸出水処理施設についても、同様の処理フローを基本としなかったのはなぜか。	委員会当日にご説明し、ご了解をいただきました。 （第5回委員会議事録のとおり（P. 29、30、31、32）） なお、本委員会 資料P5～6でも改めてご説明いたします。
17		藤原委員長	・脱塩処理について、RO膜の場合と、電気透析及び活性炭吸着の場合とで、コスト比較を行い、イニシャルコスト及びランニングコストがより安価なほうを検討していく必要があるのではないかと。 ・現行施設と同様の処理方式（RO膜）が困難であれば、その理由を記載しておくこと。	委員会当日にご説明し、ご了解をいただきました。 （第5回委員会議事録のとおり（P. 29、30、31、32）） なお、本委員会 資料P5～6でも改めてご説明いたします。
18		藤原委員長 笹原委員	・土木、建築、浸出水の一括発注であり、うち浸出水処理は設計施工一体の性能発注方式である。一方で、例えば、浸出水処理のランニングコストを考慮した際に、この一括発注及び性能発注という方式は適しているのか。	委員会当日にご説明し、ご了解をいただきました。 （第5回委員会議事録のとおり（P. 31、32））
19		花嶋委員	・浸出水処理施設の維持管理は、どなたが行うのか。 また、そのための人材育成に係る費用はしっかりと費やすこと。	委員会当日にご説明し、ご了解をいただきました。 （第5回委員会議事録のとおり（P. 33））
20		藤原委員長	・計画水質等の変化により、キレート処理設備の設置が必要となった際、JVが責任をもって設置、担保するのか。	委員会当日にご説明し、ご了解をいただきました。 （第5回委員会議事録のとおり（P. 33、34））

第5回委員会における各委員からのご意見と対応状況について

No.	議 題	委 員	意見要旨（実際の発言内容を整理して記述）	対応状況
21	工事の進捗及び施設の構造等の見直しについて（浸出水処理施設の基本設計について）	藤原委員長	・浸出水処理施設の耐用年数は、どの程度を想定して設計されるのか。	委員会当日にご説明し、ご了解をいただきました。 （第5回委員会議事録のとおり(P. 33、34)）
22		藤村委員	・受入する廃棄物の種類が変わる、重金属類が増えるというのは、受入品目が追加になるということか。	委員会当日にご説明し、ご了解をいただきました。 （第5回委員会議事録のとおり(P. 34)）
23	主な追加安全対策工事等の概要について	藤村委員	・中間覆土材の作成に係る増額について、前回第4回に説明のあった全体事業費99.9億円に含まれていなかったのか。含まれていなかったとしたら、この増額について、現場作成する費用と購入費用の比較など、しっかりと説明してほしい。	本委員会 資料P7でご説明いたします。
24		藤村委員	・今後の労務単価や資材の高騰への対応費用について、増額金額の根拠となるデータまたは引用先を示してほしい。	本委員会 資料P8でご説明いたします。
25		笹原委員	・南側斜面の追加安全対策に係り、全体地盤を5m上げ、その盛土に必要な増額が示されているが、その説明を詳細にお願いしたい。	委員会当日にご説明し、ご了解をいただきました。 （第5回委員会議事録のとおり(P. 37、38)）
26	その他	藤村委員	・国費の増額要望の現状はどうか。	委員会当日にご説明し、ご了解をいただきました。 （第5回委員会議事録のとおり(P. 39)）